

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 1 月 15 日作成)

委員会名	木質構造接合部規準改定小委員会	主 査 名：安 村 基
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：西川 孝夫 主 査 名：鈴木 秀三
設 置 期 間	2001年 4月 ~ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	木質構造設計規準・同解説における6章「接合部の設計」の規準改定(案)および同解説の審議およびとりまとめ。2001年度：接合部に関する資料収集。2002年度：フレームワークの作成。2003年度：改定原案の審議および作成。2004年度：改定(案)および解説の審議および作成。	
委員構成 (委員名(所属))	安村基(静岡大)徳田迪夫(三重大)平井卓郎(北大)小松幸平(京大木研) 鈴木秀三(職能開大)中島史郎・榎本敬大(建研)軽部正彦・杉本健一・宮武敦 (森林総研)新井新吉(新井建築工学研究所)遠山則孝(遠山1級建築士事務所) 稲山正弘(稲山建築設計事務所)那須秀之(住友林業)	
設置WG (WG名:目的)		
2003 年度予算	200,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4/21(10), 5/29(10), 6/16(13), 7/28(15), 8/25(6), 10/23(9), 11/21(9), 12/19(11), 1/16(7)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>木質構造における接合部に関する資料の収集を行い、木質構造接合部設計法の基本的考え方を整理し、規格改訂原案を作成した。本規格原案においては、建築基準法改正への対応を考慮し、接合部の終局耐力およびじん性を考慮した設計法の検討を行っている。本規準は、わが国における木質構造の設計の標準となるもので、規準の改正により、木質構造の設計がより合理的に行えるものと考えられる。</p> <p>成果の公表は、現段階では行わず、最終案が確定した段階(2004年度)で行いたい。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の活動計画どおり、ほぼ作業が進んでいる。
その他評価すべき事項	